

平成 28 年 1 月 12 日
商 工 中 金

“時計製品や銅・インテリア製品”を担保に融資枠設定 商工中金が株式会社タカタレムノスに対し、4千万円のABL実施

商工中金は、中小企業の皆様の多様な経営課題やニーズにお応えするために、先進的な金融手法を開発して、資金調達の円滑化と多様化の実現をサポートしています。

商工中金（高岡支店）は、株式会社タカタレムノス（本社：富山県高岡市、代表者：高田博氏）に対し、“時計製品や銅・インテリア製品”を担保とする「アセット・ベースト・レンディング（ABL）契約」を締結し、4千万円の融資枠を設定しました。

また、本件は「経営者保証に関するガイドライン」の主旨を踏まえ、商工中金と経営者（＝企業）の十分なリレーションが構築され、事業方針や業績について詳細な開示及び定期的な報告があること等を条件（誓約事項）に、代表者本人の保証を求める「停止条件付連帯保証」を採用しています。

株式会社タカタレムノスは、仏具製造から始まり、鋳物や漆塗の技術を活かした時計やデザイン性の高いオリジナルインテリア用品を企画・製造・販売する企業です。一般社団法人クールジャパン協議会主催の「クールジャパンアワード 2015」をはじめ、世界のさまざまなデザイン賞を受賞しています。

富山県は、県の成長戦略として「とやま未来創生戦略」を策定し、産業・地域経済の活性化のために、伝統産業分野の商品開発によるブランド力の向上と販路開拓の支援などに取り組んでいます。

商工中金は、県の成長戦略を担って海外の展示会に積極出展する同社の取組みに呼応し、同社に対してABLのスキームを導入して、新商品の開発・製造・販売に必要となる運転資金を融資しました。同社の事業のライフサイクルに着目することで、従来は担保として利用されることのなかった在庫や売掛金など「商流」を一括で資金調達に活用できることになりました。

商工中金は、今後もこうした取組みにより、多様化するお取引先の資金調達ニーズにこたえ、地域経済の発展に貢献していきます。

◆株式会社タカタレムノス様向けABL契約の概要

形式	コミットメントライン
借入人	株式会社タカタレムノス
組成額	4千万円
期間	1年
資金使途	運転資金
契約日	平成 27 年 12 月 29 日

◆株式会社タカタレムノスの概要

所在地	富山県高岡市早川 511
代表者	高田 博
業種	時計インテリア製品製造業
設立	昭和 59 年 7 月
資本金	3千万円
従業員数	32名（平成 27 年 12 月現在）

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



1. ABL (アセット・ベースト・レンディング) とは

在庫が販売されて売掛金となり、売掛金が回収される過程の「事業のライフサイクル」に着目し、在庫・売掛金を一体として担保取得し、極度枠を設定するスキームを言います。

商工中金のABLモデルでは、原則としてこの「事業のライフサイクル」のみを貸付の主要な引当てとするものであり、お借入される企業の不動産、機械設備もしくは、有価証券を担保としたり、または代表者の個人の信用力に過度に依存したりすることを想定していません。その意味で商工中金のABLモデルは、動産・不動産や債権を個別に担保と捉えてきた従来型の融資実務とは根本的に発想を異にする取組みであり、中小企業の資金調達の多様化に大きく寄与するものです。

2. ABLスキーム図

